

1月の子ども読書活動推進

1 本の福袋

1月は、雪の日が多かったのですが、休日に本を借りに来てくれた子たちもたくさんいましたし、絵本を借りてくださる保護者の方もありました。「本の福袋」は、十日町情報館だけでなく、川西分室、松代分室でも大変好評だったと聞きました。それを証明するように、準備した数は、全て借りてもらえました。中にはどんな本があるかな？ と新しい本との出会いがあったことと思います。これからも工夫して本との出会いを作ってきたいです。

2 ブックトーク



<川治小4年生の様子>

1月26日(水)に、川治小学校の4、5、6年生でブックトークを実施しました。秋に予定していたのですが、様々なことがありこの時期になりました。

4年生は「冬といえば…」、5年生は「冒険」、6年生は「鬼」がブックトークのテーマでした。それぞれの学年の子どもたちが、「読みたい本が見つかった」「読書しなくなった」…と感想に書いてくれました。雪の季節、またコロナ感染拡大で外での活動が制限される「今こそ読書！」はどうでしょうか？

3 楽しい読書出前授業



<東小学校1・2年生>

1月29日(土)に、東小学校の1・2年生、3・4年生で楽しい読書出前授業を実施しました。保護者参観もあったので、密を避けて会場は体育館でした。寒さを心配しましたが、ストーブを早くからたいて頂いていたようで、会場はあたたかかったです。

1・2年生には「読書は好きですか？嫌いですか？」と聞き、3・4年生には、「読書をたくさんしていますか？していませんか？」と聞きました。

読書が好きの子、たくさんしている子の方が多かったので、読書が嫌いな子、あまり読書をしていない子に先に理由を聞きました。

・字を読むのが苦手 ・ほかの遊びがいい ・時間がない ・長い本は嫌い。・・・

私は、「無理して字が多い本を読まなくていい、絵や写真がたくさんの本を読めばいい。」と言いました。また、「1日24時間は誰もが同じ。その時間をどう使うかは自分が決める。絵本1冊は長くても10分はかからない。寝る前の15分でいいから読書の時間を生み出してほしい」と伝えました。その後、20冊ほどの本を紹介しました。全員が読みたい本を選んでくれたので良かったです。最初は、読書が嫌いだと言っていた子も読みたい本を選んでいましたし、感想に「読書をしなくなった」と書いていたので嬉しかったです。

ささやかなきっかけで子どもたちは本に興味を持ちます。「あなたはきっとこの本が好きだよ」とその子に合った本を手渡していきたいです。

読書賞

たくさん本を読んだ子に、賞賛と意欲喚起のために本年度も十日町情報館長名の「記録賞」を渡します。2月末までの集計として、各学校で一番たくさん読んだ子の報告をお願いします。例えば下学年は冊数で上学年はページ数で記録をとっているという場合は、2名を報告してください。別紙報告用紙(添付します)に記入の上、3月8日(火)までに、メールで情報館・高橋までお送りください。8日を過ぎても報告が無い場合は、記録賞は希望しないということで判断させていただきます。中学校では、該当者が3年生の場合は、卒業式を終えてしまいますが、何らかの方法で学校からお渡しください。よろしくをお願いします。